

## 第二回中村青史賞は 池田道明さんに



一般社団法人くまもと文化振興会 会報

文化・芸術活動、学術研究、出版事業などの“青い鳥”を育てましょう。

第18号

発行日  
令和4年8月  
発行者  
一般社団法人  
くまもと文化振興会

題字揮毫／森山淡草

中村青史賞をいただいて

この度、創設から二回目の賞をいただき、大変恐縮しているところです。

今後、この賞が高く評価されるには受賞者のこれからの働きが大切なのは間違いないでしょう。で、あるならば、賞を授けて下さった方々の御期待に少しでも答えられるように精進してまいろうと思っております。

私も学生時代からすると、四〇年以上、絵を描き発表して来たのですが、そういう人物ならば他にも数多おられる訳で、何故、私にと考えると、里山美術展という田舎暮らしの中で美術活動をやって行こうというイベントを二〇年主催して来た事が評価されたものと思います。

近年、持続可能とかSDGsといった考えが注目されていますが、里山美術展の会場(肥後民家村)は、まさに持続可能を体現する場所として数棟の古民家を移築した、実に静かで美しい歴史公園なのです。

このイベントはアート作品の展



池田 道明さん

示だけでなく、たくさんのワークショップを用意して、子供から大人まで多くの人達に自然と触れ合いながら作品作りを体験してもらい、大変喜んでいただいております。

私自身も、持続可能な農業をなりわいとし、自然栽培(農薬・肥料不使用)でミカンを育てており、全国に応援して下さる方がいるのですが、やはり東京方面が最も多く、東京で絵画を見て頂き、自然と農業について話ができれば

という思いから、一昨年、今年と銀座で個展を開かせて頂きました。副賞として頂きました賞金は、その際有り難く使わせていただき、大変助かりました。

今後、美術文化の役割として、自然を大切に守り続けていくという事が益々重要な時代となってくるでしょう。

日本は幸いコロナなどの問題はありますが、それなりに平和に暮らす事ができます。ですが、今は後にはなかなか先の見えない難しい不安な世の中です。

中村先生がよく言っておられた「結局大切なのは文化なんだよ」という言葉を心に刻み、熊本から世界へ文化の発信ができるよう力を尽くしてまいりたいと思います。

## 蒼昊

安倍元首相が銃撃され死亡したことは、大変なことだ。選挙期間中ということもあり、言論への挑戦かとも思われたが、そんな大層な目的ではなかったようだ。それにしても当日のテレビ番組は教育テレビを除きどこも同じような番組を終日流し続けた。それはまるで日本が統制国家のような感じであった。▼それはともかく、この数年来、コロナの蔓延は止まることを知らず、第七波は手がつけられない状態となっている。熊本でも毎日一〇〇人単位の感染者が出ており、いつ沈静化するのかわからない。外ではマスクをはずしても良いというが、人々ははずしたがらない。その割には人出は戻ってきている。ちよつと不思議だ。▼いろいろな行事も今年も行なうという。火の国まつりに秋の藤崎宮例大祭など二年ぶりの開催だ。その一方、花火大会は今年も無いという。いったいどんな基準で決めているのか。▼いずれにせよ、感染拡大が止まり、普通の日常が戻ることを願う。



# 西暦一九〇〇年を

## ツツコむ

いわさき楊子

漱石は熊本の五高に教師としての籍を置いたまま文部省の留学生としてイギリスへ発った。プロイセン号で数人の留学生とともに横浜を出発したのは明治三三年・西暦一九〇〇年の九月八日。しかし実際に日本を離れるまで数日を要している。その間にも下船して知人に会って食事したりしている。本当の日本出発日はいつ？ そんな時代だった。

九／八 午前八時、横浜出航。家族、親族らの見送りを受ける。

九／九 神戸入港、午前八時半頃〜午後一〇時出航。

九／一 午前四時、長崎に着く。午後九時出航。

一〇／一八 イタリア・ジェノバ港に上陸し、翌日パリへ向かった。パリでは一週間滞在して観光と開催中の万国博覧会を見た。

一〇／二八 パリを発って夜ロンドンに着いた。

空狭き都に住むや神無月

漱石

神無月（一〇月の別名）という季語を使っているからイギリス到着後すぐに詠んだ俳句だとわかる。ロンドンには空が狭く感じるほどの巨大なビル街に見えたに違いない。そして、年が明けるとヴィクトリア女王（現在のイギリス女王であるエリザベス二世の高祖母）が亡くなった。

白金に黄金に樞寒からず

漱石

質素な白木の日本の樞にくらべると金銀の装飾にはカルチャーショックをうけたことだろう。先日、エリザベス女王の即位七〇年の祝賀行事が報道されたが、筆者もイギリス皇室の伝統様式に目を見張った。

ところで、オリンピックは四年ごとに閏年に開催されるというのは常識だ。コロナウイルス感染症拡大の影響で東京二〇二〇オリンピック・パラリンピックの一年延期は記憶に新しい。さてここで、二月は二九日まである閏年が四年ごとにくるといふ常識は正しく

ない。一〇〇で割り切れない年で四〇〇で割り切れない年は誤差修正のために平年と決められている。「なんでやねん」とツツコまれても困る。天文学の分野だから仕方がない。つまり漱石がイギリスに行った一九〇〇年は閏年ではなかったのだ。



### 戦争は何故無くな らないのか？

西本 寛

二一世紀の世の中になっても、一向に戦争が無くなりません。プーチンは何故戦争をするのでしょうか？ ロシアに限らず世界中あちこちでキナ臭い話が目白押しです。人類は全く懲りないし、成長が無いように思えます。何故でしょう？ 個別の政治的な理由は様々あるのですが、根本的な理由は、二つあると思

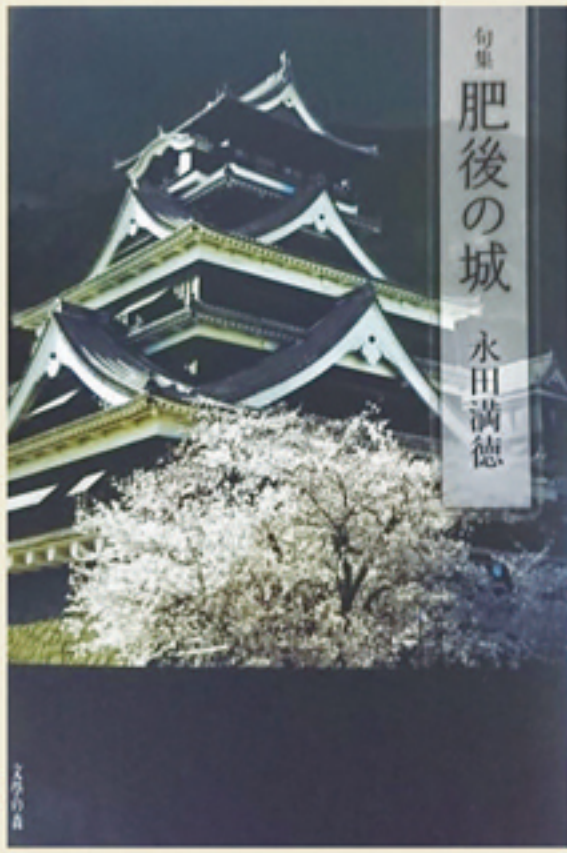
ます。

第一は、人類が他の動物と同様、獲得形質が遺伝しないということ。親が勉強し苦勞して身につけた知恵や技術などは、子供には全く遺伝せず、どんな賢い親の子供も生まれた時は何の知識も技術もゼロで生まれ、自分で一から学んでいかなければ言葉さえ話せないのです。人類はマクロで見たら科学技術の発展で毎年毎年凄まじい進歩を続けていますが、ミクロで見たら、人類がこの世界に誕生して以来、何一つ進歩はしていないのです。人類の叡智は個々の個体には何も受け継がれないのです。親が科学に長けていようが、社会で大きな事を成し遂げていようが、その子供は全てリセットされて生まれてきます。人類が繰り返して体験してきた戦争の苦しみも、全ての人類は、全く知らずにこの世に生まれて来なのです。親の体験は親だけのものであり、子供に引き継がれることはありません。そして第二は、他の動物

に無い人類の最大の特徴が『欲求』に限りが無いということ。他の動物の欲求は、基本的に個体維持と種族維持のために最低限必要な欲求です。しかし、人類は最低限必要な欲求を満たしても、それだけには飽き足らず、際限無く欲求を満たし続けます。そのおかげで人類は、科学、娯楽等々、他の動物の獲得できない多くのものを獲得してきました。しかし反面、際限無き欲求は固体間でぶつかり合い、結果として争いが起きます。

この二つの特徴は、変わる事のない人類の属性です。従って、そこから導き出される結論は、どんなに世の中が変わっても、人類が人類である限り世界から戦争が無くなる事は無いという事になります。戦争や争いに巻き込まれず寿命を全うできたなら、それは単に大変運が良いタイミングで生まれたということでしょう。欲深き人類の一人として、寿命が全うできるよう幸運を祈るのみです。





## 出版情報

会員の永田満徳さんが先般第二句集を発売。  
タイトルの『肥後の城』（写真）。第一句集『寒祭』に続くもの。二〇一六年の熊本地震で崩壊した熊本城に涙した事をきっかけにこの句集が生まれたと作者は言う。凶らずもその後の人吉大水害を目の当たりにして、奇しくも二つの大災害を悼む句集になった、と。人吉は作者の故郷である（全三四四句）。

自選句…  
この町を支へし瓦礫冪返る  
こんなにもおにぎり丸し  
春の地震  
本震のあとの空白夏つばめ



NPO法人くまもと漱石文化振興会と熊本大学・漱石・八雲教育研究センターは四月に「アイラズ漱石先生」（漱石探求ガイドブック）を発行した。  
内容は次の五つをテーマに構成されている。  
漱石とその作品を知る（漱石

## 令和4年度(2022)総会ご案内

コロナ蔓延のため本年度総会は文書による審議となりました。

### 審議内容

#### 1、令和3年度事業報告

##### ○出版事業について

総合文化誌『KUMAMOTO』

36号(令和3年9月)～

39号(令和4年6月)発行

三青鳥18号発行(令和4年7月)

- 絵画展示事業について
  - 講師派遣事業について
  - 後援事業について
  - 支援事業(中村青史賞)
- なし  
(コロナウイルス感染拡大のため)

令和3年度は美術を中心に環境問題などに取り組む池田道明さんに贈られた。

#### 2、令和3年度決算報告(別紙にて)

#### 3、令和4年度事業計画について

出版事業(『KUMAMOTO』40号～43号

「三青鳥」19号発行)

絵画展示事業、講師派遣事業、  
後援事業、支援事業など

#### 4、令和4年度予算案について(別紙にて)

#### 5、理事改選について(そのまますえ置くこととする)

#### 6、その他

中村青史賞推薦について

\*中村青史賞とは、氏が令和元年に熊日賞を受賞された際、その賞金を当会に寄付されたもので、それを基金として創設したものです。「既存の文化賞から外れた優れた活動に光を当てたい」との氏の思いを受けたものです。

なお、賞にふさわしい方がいらっしゃたらご推薦下さい。詳しくは事務局へ。



## 県・市指定文化財などの 復旧状況

(『KUMAMOTO』39号ほか  
HPなどから転載)

▽夏目漱石内坪井旧居

▽徳富蘇峰旧邸(大江義塾跡)

▽横井小楠「四時軒」

以上三件は令和四年三月復旧工事完了、  
七月～九月に開館予定

▽ジェーンズ邸(洋学校教師館)

令和四年三月末時点で工事進捗率は約七  
〇%。八月末完了予定。令和五年度中の開  
館予定。

▽五高赤レンガ教室

レンガ壁のひびを修復、建物をステンレス  
材で補強したりして復旧工事完了、四月四  
日に一般公開した。

▽熊本城

天守閣を除く櫓、石垣は国の重要文化財の  
ため地震の前の状態に戻すには相当時間  
がかかる。全体の三〇%の石垣(約一〇万個  
の石)が被災した。

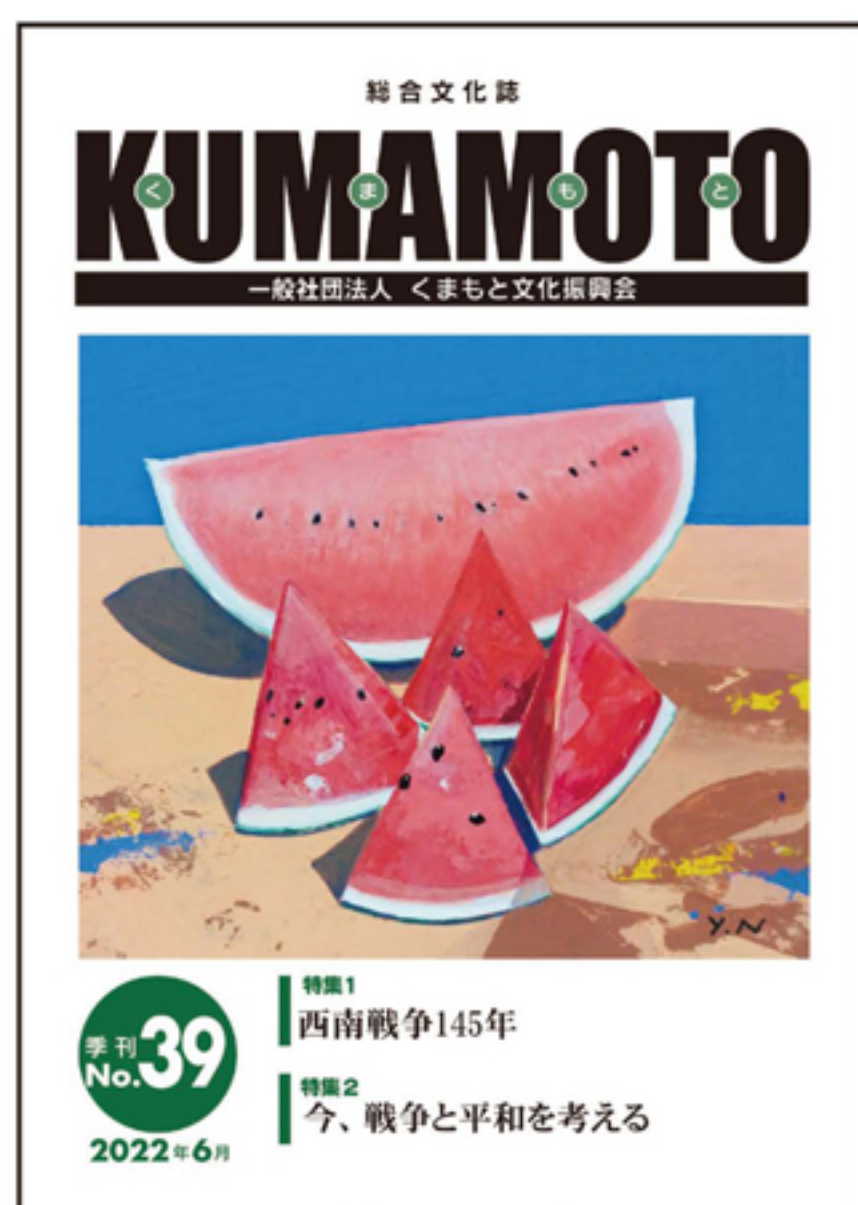
全体の復旧は令和一九(二〇二七)年に完了  
予定。

なお、宇土櫓や続き櫓については令和一〇  
年～一四年度の完了を予定している。

### 動物愛護基金を募集中

放置犬や猫の避妊手術など、動物愛護費  
用のための基金を募集しています。ぜひご  
協力を。くわしくは事務局へ。

## 総合文化誌『KUMAMOTO』 39号発売中



特集1『西南戦争145年』  
特集2『今、戦争と平和を考える』  
定価 800円 + 税

## 総合文化誌『KUMAMOTO』 40号9月発売予定

一般社団法人くまもと文化振興会  
会報「三青鳥」第18号  
2022(令和4)年8月 日発行

事務局 〒860-0855 熊本市中央区北千反畑町5-13  
さろん・ど・漱雲内  
TEL・FAX 096-343-8806  
E-mail shinkokai@garo-nanpudo.com

## 一般社団法人くまもと文化振興会会員募集!

新しい文化創造・新しい文化発信者への支援のため  
にご協力下さい。賛同、応援していただける方を募  
集します。

【入会金】				
正会員	個人	2000円	法人・団体	5000円
【年会費】				
正会員	個人	6000円	法人・団体	20,000円
賛助会員	個人	3000円(一口以上)	法人・団体	10,000円(一口以上)
※特別賛助会員		月額5000円		

お問い合わせ：一般社団法人くまもと文化振興会事務局まで

## 一般社団法人くまもと文化振興会役員名簿

顧問	中村青史 (文学博士)
理事長	藤好建史 (藤好クリニック院長)
理事	鈴木之夫 (帯山西自治協議会会長)
	田代晃三 (洋画家・東光会理事)
	北園雄一 (熊本県武道協議会相談役)
	緒方信行 (彫刻家・日展会員・熊本大学教授)
	森田正孝 (洋画家・日洋会熊本県支部長)
	和田正隆 (県文化懇話会員)
	二宮弘一 (洋画家・日洋会幹事)
	廣島 正 (熊本出版文化会館代表取締役)
監事	西本 寛 (西本会計事務所所長)
	高木陽助 (「徳永直の会」会長)
事務局	福田孝子

一般会員数 60名  
会員団体 3団体  
賛助会員数 15名